

## 令和7年度滋賀県農林水産表彰 被表彰者一覧

【功労賞】

整理番号 種別	部門	ふりがな 氏名	年齢 (年数)	住所 (市町まで)	主な功績等	表彰式出席
個人	農業	たなか はるつぐ	67	草津市	就農以来、土地利用型農業を經營し、地域からの信頼を得ながら經營面積を10haから35haまで拡大し、新品種や新技術を積極的に導入し農業改善に貢献した。有志とともにレンコン栽培を開始し、JAや草津市と連携して特産品「琵琶湖からすま蓮根」を販売し、地域活性化を推進。 また、指導農業士として後継者育成や小学生の作業体験を受け入れる食育活動にも注力した。 さらに草津用水土地改良区の地区委員長として担い手間の話し合いを通じ土地改良事業の着工や農地集約化を実現し、地域農業の効率化に寄与している。	本人出席
		田中 治嗣				
個人	農業	くろだ ためかず	69	甲賀市	甲賀市信楽町朝宮地域で、經營規模拡大が難しい環境の中18歳で親元就農。重機を使った園地改良や管理道整備で軽労化・効率化を図り、地域平均2.7haを超える4.9haの茶園を經營。「上朝宮製茶共同組合」に参画し、香り高いお茶づくりや製茶加工の効率化を推進し、有志と「しがの茶園整備新鮮緑クラブ」を設立、若木の茶を活用した商品化で6次産業化を進めた。 また、指導農業士や茶業協会会长、農事組合理事長などを歴任し地域茶業振興や青年農業者育成に寄与している。	本人出席
		黒田 為三				
個人	農業	ゆのくち たかお	73	東近江市	水稻と野菜の複合經營で地域農業の担い手が減少する中、農地の受け皿としての役割を担い、規模を拡大している。集落では農作業の協同化、事業を活用した施設や機械の導入に向けて取りまとめ役として地域の調整の中心となった。 滋賀県環境こだわり農産物認証制度制定前から減農薬、減化学肥料に取り組み、現在水稻栽培面積の75%について認証を取得している。 また、県指導農業士として多くの県農業大学校等の研修生を受け入れ、学生の進路について一助を与えた。	本人出席
		湯ノ口 孝生				
団体	農業	かわみなみ よしあき	72	東近江市	水稻、施設野菜、露地野菜の複合經營体の優良モデルであり、早くから土づくりの重要性を地域に広めるとともに、農薬を使用しない太陽熱消毒を推進し、40年以上続く連作圃場においても生産に支障を出さない技術を確立した。 また、地域の排水ポンプの修繕事業では、氏を中心となって多方面への調整に奔走するなど地域の生産基盤の安定化にも貢献した。 指導農業士に任命されてから、滋賀県立農業大学校の学生を11名受け入れ、若手への農業技術の伝達に努めた。	本人出席
		川南 善明				
個人	農業	こんどう あきら	74	彦根市	水稻、麦、大豆、ニンジンの複合經營を確立し、地域の農業者との連携を密に行い、經營規模を5haから33haに拡大した。環境こだわり米や高収量を実現する基本技術の実践、ICTを活用した作業の効率化、ドローンによる防除・施肥作業の受託事業、米粉生産などの6次産業化など新しい技術、取組により經營改善に取り組む。 地域貢献として地元農業委員やJA役員として農業振興にも尽力し、持続可能な農業と地域発展に取り組んでいる。	本人出席
		近藤 章				
個人	農業	ひろべ しげつぐ	66	長浜市	水稻湛水直播栽培技術の普及について機械利用組合を通じて進めた。また環境保全型農業や環境こだわり農産物の認知向上にも貢献した。 人材育成についても、学生や県職員の研修の受け入れを行ってきた。県指導農業士会長に就任し、県農業・水産業基本計画(第3期)の審議会委員としても計画樹立に向け提言を行った。 食育活動では、地元中学校や小学校のプロジェクトを通じて地域の子供たちへお米の魅力を伝え、コミュニティ形成の中核を担っている。	代理出席
		廣部 重嗣				
個人	農業	こじま ひでき	67	高島市	水稻と花き（菊）栽培で就農し、新技術導入や規模拡大を行い、地域農業の発展に貢献した。農業者の高齢化や人口減少に伴い出てくる農地を引き受け、耕作放棄防止や機械による作業効率化も行った。 近年では集落の地域計画に担い手として位置付けられ、将来地図の作成や農地集約の調整に積極的に取り組むなど、地域社会の維持発展に寄与した。 農業後継者クラブでも積極的に活動し、地域農業者のネットワーク構築に尽力され、現在の地域における農業者や担い手間の交流の礎となっている。また、後年には指導農業士として青年農業者や次世代経営者の支援を行ってきた。	本人出席
		小島 秀喜				
個人	水産	ひらやま つぐお	74	高島市	長年、エリ漁等に従事するとともに、エリ、ヤナ、漁船漁業と幅広い漁業を行い、高島地域での中核漁協である百瀬漁業協同組合において、昭和63年から平成18年まで理事を18年間、平成18年から令和3年まで代表理事組合長を15年間の長きにわたり努め、地域漁業の振興に大きく貢献した。現在も理事として組合運営に尽力している。 また、琵琶湖の固有種であるビワマスの採卵用親魚の採捕数は県下でも常に上位にあり、その卓越した技術を後進に伝え指導するなど、本県におけるビワマス増殖事業に多大な貢献をした。 さらに、県の試験研究にも積極的に協力し、水産資源の推定や生態把握に大きく貢献した。	本人出席
		平山 次夫				
個人	林業	おくしま けんじ	73	甲賀市	昭和44年に信楽町森林組合に入組され、信楽地域の林業振興に貢献するとともに、甲賀地域の森林組合広域合併に際して、各森組合間の事務調整に尽力した。 平成28年に滋賀県木材流通センターの所長に就任し、取引先および出荷者との調整、滋賀県木材流通センターの経営改善、県産材の安定流通の推進に大きく貢献した。 また、昭和61年に多羅尾県営林の管理員に就任し、39年間の長きにわたり県営林巡視作業に従事した。森林組合職員としての経験と知識を活かし、使命感をもつて状況報告や施業提案を実施し、県営林の適正管理に大きく貢献し、県営林管理員の模範となるものである。	本人出席
		奥嶋 健次				
個人	林業	たなべ ゆきお	68	彦根市	独自に作業道作設の技術を確立したことで全国の林業関係者に知られていた氏は、平成20年度から本県主催の研修で講師として作業道作設技術の普及に携わり、「滋賀もりづくアカデミー」では路網計画の講師を担当するなど、多年にわたり本県の森林作業道作設技術の向上に大いに尽力した。また、令和元年度には滋賀県森林審議会の委員に就任され林業技術者として本県の森林・林業施策の推進に貢献された。	本人出席
		田邊 由喜男				

## 令和7年度滋賀県農林水産表彰 被表彰者一覧

【奨励賞】

整理番号 種別	部門	ふりがな 氏名	年齢 (年数)	住所 (市町まで)	主な功績等	表彰式出席
1 個人	農業	かわい れおと	29	守山市	就農後、イチジクや小玉スイカを主要品目として経営を開始し、環境保全型農業や品質向上に取り組みつつ経営規模を拡大した。収穫体験イベントの開催やSNSの活用により固定客の確保と収益拡大に成功した。また、イチジク振興では生産組合や地元の振興協議会で事務局長を務め、栽培技術指導や産地の面積拡大に貢献した。さらに、新規就農希望者を研修生や従業員として受け入れ、自身の経営の人手確保に繋げつつ、独立就農に向けた支援を行うなど、地域農業の発展に寄与している。	本人出席
		川井 玲央人				
2 個人	農業	かすが かおり	33	甲賀市	令和4年3月に施設イチゴで独立就農後、丁寧かつ適期の栽培管理を実践し、県モデルを上回る収量を達成した。イチゴの共同販売では、主力出荷者として安定出荷を実践し、庭先販売ではリピーターが定着した。これら取組により、就農計画の販売金額目標を初年度から達成し、新規就農者でありながら、栽培・販売両面で高い技術を有し、甲賀地域のイチゴ生産の活性化および共同販売の定着に大きく貢献した。 就職就農時から女性の就農促進のために自身の就農経験を積極的に発信している。現在は3児の母として育児とイチゴ経営を両立し、今後、女性農業者のモデルとして更なる活躍が期待される。	本人出席
		春日 かおり				
3 個人	農業	こばやし かれん	33	東近江市	他産業からイチゴ経営にチャレンジされた当県では数少ない女性農業経営者。滋賀県立農業大学校就農科で少量土壤培地耕でのイチゴ栽培を学び、環境モニタリングを踏まえたデータ分析、スマート農業技術を駆使して、おいしく粒の揃ったイチゴを生産している。 販売は直売、観光イチゴ園、市場出荷など様々な方法を展開している。直売では前職の経験を活かし、購入者の傾向のデータ化や商品の見せ方に工夫している。地域づくりへの参加や、講演の講師も積極的に行い、女性農業者としての発信を行い、女性農業経営者のモデルとしての活躍が期待される。	本人出席
		小林 佳紫				
4 個人	農業	かわさき かおり	35	長浜市	滋賀県立農業大学校就農科で施設メロンとミニトマトを学び「自身が栽培した農産物で消費者に感動を得てもらいたい」をテーマに「かわさき農園」を立ち上げ、地元密着型の農産物生産に取り組んでいる。スマート農業技術も駆使し、質の高いメロンとミニトマトを供給し、施設野菜生産者として認知度を高めている。 販売方法も直売と市場出荷に加え、オンライン販売にも力を入れている。さらに、消費者からの認知度を上げるために表示方法にもこだわり、SNSを駆使し販売機会を逃さない手法を確立している。 女性の視線を活かしつつ、スマート農業とSNSを活用した経営を実践しており、地域農業の重要な担い手としての活躍が大いに期待される農業者である。	本人出席
		川崎 香				

※ 年齢は、基準日（R 7/4/1）現在